

高教研情報 013 号
平成 25 年 10 月 23 日

関係高等学校長 様

北海道高等学校教育研究会長
(北海道札幌旭丘高等学校長)
佐々木 高 至
北海道高等学校教育研究会情報部会長
(北海道旭川西高等学校長)
宮 嶋 衛 次

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会(岩内)の開催について(依頼)

晩秋の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本会の運営および活動に対しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、北海道高等学校教育研究会情報部会では、別紙の開催要項のとおりキャラバン研究会を後志管内高等学校情報教育研究会と共催いたします。

このキャラバン研究会では、情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目的とし、その学習活動に直結するような実践的な研修を行います。学校事情や札幌からの距離などにより1月の研究大会に参加できない先生方、また、情報科を一人で担当して悩みを抱えている先生方などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の総意で始めました。

さらに、このようなキャラバン研究会開催の趣旨から、情報に対する見方や考え方といった知見を他教科の学習活動やそれ以外の教育活動にも活かそうとする、情報科以外の先生方にも数多く参加して頂きたいと願っております。

つきましては、時節柄ご多用のことと存じますが、情報教育に広く興味関心を持つ先生方に対するキャラバン研究会の周知と参加について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

高教研情報 014 号
平成 25 年 10 月 23 日

関係高等学校長 様

北海道高等学校教育研究会長
(北海道札幌旭丘高等学校長)
佐々木 高 至
北海道高等学校教育研究会情報部会長
(北海道旭川西高等学校長)
宮 嶋 衛 次

北海道高等学校教育研究会情報部会キャラバン研究会(岩内)の開催について(ご案内)

晩秋の候、貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本会の運営および活動に対しまして、平素より格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、北海道高等学校教育研究会情報部会では、別紙の開催要項のとおりキャラバン研究会を後志管内高等学校情報教育研究会と共催いたします。

このキャラバン研究会では、情報科が目指す教育の成果が全道にしっかりと根付き、生徒の学習意欲が高まることなどを目的とし、その学習活動に直結するような実践的な研修を行います。学校事情や札幌からの距離などにより1月の研究大会に参加できない先生方、また、情報科を一人で担当して悩みを抱えている先生方などに、ぜひ研修の機会を設けたいと情報部会会員の総意で始めました。

さらに、このようなキャラバン研究会開催の趣旨から、情報に対する見方や考え方といった知見を他教科の学習活動やそれ以外の教育活動にも活かそうとする、情報科以外の先生方にも数多く参加して頂きたいと願っております。

つきましては、時節柄ご多用のことと存じますが、皆様にキャラバン研究会にご参加いただきたくご案内申し上げます。

北海道高等学校教育研究会情報部会

キャラバン研究会(岩内)開催要項

1 日時

平成 25 年 11 月 14 日(木) 14:00~16:40

2 主催

北海道高等学校教育研究会情報部会
後志管内高等学校情報教育研究会

3 会場

北海道岩内高等学校 (岩内郡岩内町字宮園 43 番地の 1/電話 0135-62-1445)

4 時程

13:30	14:00	15:00	15:10	16:10	16:20	16:40
受付	WS-1	休憩	WS-2	移動	意見交換会	閉会式

※後志管内高等学校情報教育研究会と共催する関係で、以下の事項についてご了解下さい。

- 後志管内高等学校情報教育研究会の開会式と総会が 13 時 30 分から行われており、その後のワークショップ(WS)から参加者は合流します。
- 意見交換会では、ワークショップの内容や情報科に関係する事柄以外にも、教育一般の話題が提供されることがあります。
- 閉会式は合同で行います。

5 ワークショップ

WS-1 「電卓があればできる問題解決」

(何気なく決めていたことを、意識化してみる)

ファシリテータ/北海道札幌北高等学校 奥村 稔 教諭

日常的に私たちは、様々な問題解決(意志決定)を行っています。簡単なことでしたら、朝起きて今日はどのような服装で出掛けようかとか、今晚の会食ではどのような料理にしようかとか。

そうしたときに私たちは、これまでの経験やその時の気分に任せて、けっこう何気ない決め方をしています。でも、それが相応しい結果となって満足できるときもあれば、納得がいけなくて残念に思うときもあるでしょう?そのような意志の決定を、客観的な根拠を持って行うことは

できないものなのでしょうか。

問題解決という何やら難しそうなお行動が、これほど簡単にできて、最後は納得してしまうという魔法のような方法。オペレーションズリサーチは、様々な問題に対して科学的な解決を支援する技術群です。その中から階層分析法を紹介し、ワークシートを用いた実践的な授業にしてみます。

WS-2 「キャラクタベースのコミュニケーションに触れる」

ファシリテータ／北海道札幌新川高等学校 杉本 式史 教諭

我々がコンピュータを利用するとき、一般に GUI と呼ばれる使い勝手の良いインターフェースが利用されています。これは人間にとって情報を視認しやすくするために工夫されているものですが、コンピュータ同士が情報交換する場合には使いやすい形式とは言えません。今回はキャラクタベースでのやり取りを通じて、インターフェースの重要性を再認識し、また、コンピュータ同士がどのようにデータをやり取りしているのかを、WEB API など、キャラクタベースのやり取りを通じて眺めてみたいと思います。情報社会の表通りから、一歩だけ中に踏み込んでみましょう。WEB API による情報の二次利用についても触れてみたいと思います。

6 参加申込み

- (1) 電子メールで申込み下さい。
- (2) 宛先アドレス: k.tsubata@nifty.com (問い合わせもこちらに)
- (3) 件名(標題): キャラバン研究会(岩内)申込み
- (4) 本文: 以下の4要件を記入して下さい。
 - ・参加者氏名
 - ・担当教科
 - ・所属先
 - ・連絡先の電子メールアドレス
- (5) 締め切り 11月11日(月)
- (6) 申し込みの確認電子メールを差上げます。もし、それが届かないような場合には、倶知安高校の津端(つばた)までお電話(0136-22-1085)を下さるようお願いいたします。

7 その他

○コンピュータの台数その他機材の関係で、参加人数を制限したりワークショップの内容に一部変更が生じたりする場合も考えられます。その場合には、参加申し込みに記載された連絡先にご案内を差上げます。